

# 9月議会最終日討論採決 山東幼稚園2025年3月閉園決定す



## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

8月31日から始まった9月定例会は10月4日の最終日で終了しました。議案は全て可決されました。注目された最終日討論では山東幼稚園廃止条例は3人（藤田・矢野・鹿取の各議員）が反対討論、2人（山本、堀江の各議員）が賛成討論を行いました。採決の結果、反対3人、賛成11人、棄権1人で可決されました。藤田議員の反対討論は次のとおりです。山脇議員は棄権しました。

### 藤田議員の反対討論

#### 本当にやさしい市か

昨年7月に「米原市立幼稚園の在り方検討委員会」が立ち上げられ、11月から市民アンケートが行われました。そのアンケートの内容を見た地域の子育て中の若い保護者の方から、このアンケートは、最初の書出しから「多くの保護者は長時間保育を希望されているが山東幼稚園は対応していない。そのために園児数が減少している。また施設の老朽化で改修に大きな経費が掛かる。そのまま存続することは困難」との書き出しになっている。本気でこの大切な子育ての施設を維持していく「構え」が全く見えない。市長は選挙で「子育て県下ごを公約にしている。米原市は本当に「子育てにやさしい」町なのか、本気で子育て支援を考えているのか疑わざるを得ない。設置して18年で老朽化などは市の管理体制の問題であり、そのようなことに責任を感じていない市政の怠慢は許されない。

#### 行政の対応遅れが問題

早い段階から、山東地域だけの問題ではなく、米原市全体で対応を考えられればこんな環境の良、立派な優良施設である山東幼稚園が維持できないことはない。そのような姿勢も見られず、対応もされてこなかった。

しっかりと行政が対応すれば、維持できたはずとの意見でした。このことはアンケート結果でも山東幼稚園の長時間保育可能な「認定こども園」を求める直筆の回答が多数にのぼっていることでも明らかです。

#### 少人数保育・教育は待たない

民間施設との競争がありますが、私は、官民が互いに協力しながら切磋琢磨をすれば米原市全体の子育て環境をしっかりと作っていきけると考えます。また就学前の保育・教育施設ではより少人数保育教育は必要です。最近幼稚園の通園バスで取り残されて死亡に至る悲惨な事例が続いています。すべての子ども達に目が届くことが必要です。限度は10人から20人前後が限度で現在でも山東幼稚園は3・4歳児で10人を超えています。民間も少人数保育を追い及すべきあり、市としても保育・幼児教育の質の向上のための少人数保育を支援する必要があります。

特に民間園の保育士は低賃金におかれ、また多くの園児を見なければならず、過酷な職場ともいわれ、職員の不足が生じていると言われています。そのような

ことから職員の待遇改善も強く求められています。

#### 市の発展に子育て支援策は重要

この前の質問の中でも米原市の今後の発展・成長には「子育て支援策」が重要であることが確認されました。今ある保育や教育の資源を生かし、活用してこそ自治体として今後の発展になると考えます。

今回、幼稚園駐車場の一部に「平和の礎」を作られることが発表されています。「在り方検討会」の思いは、山東幼稚園全体が米原市の子育て支援の目的に利用すべきとの意見でした。今回の「平和の礎」は「子育て支援」という目的から外れているように思います。

#### 三島池は市民の重要資源

三島池は米原市民全体の貴重な資源です。市民、特に未来を背負う子供たちに有益な場所となる必要があります。このことから今回の山東幼稚園の廃止条例に強く反対し、討論とさせていただきます。



議員名	会派名	山東幼稚園閉園条例
山脇正孝	日本共産党市議団	棄権
藤田正雄	日本共産党市議団	×
山口久志	天翔クラブ	○
鹿取和幸	天翔クラブ	×
磯谷晃	天翔クラブ	議長
後藤英樹	天翔クラブ	○
矢野邦昭	天翔クラブ	×
今中力松	天翔クラブ	○
中川松雄	天翔クラブ	○
鏑田明	天翔クラブ	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○
振角大祐	無会派	○
細野正行	無会派（公明党）	○
結果		可決